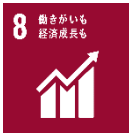


SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGs の内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGs の推進に取り組むことを宣言します。

< 宣言日 > 2025 年 10 月 16 日

事業者情報					
事業者名		M DASANAYAKA			
代表者 職・氏名	職名	代表			
	氏名	吉行麻里子			
ホームページ URL (任意)		https://madanayaka.com			
事業者ロゴ (任意)		 M DASANAYAKA			
事業者としての 2030 年のあるべき姿					
大田区から世界へ、「有機的な循環」を生み出すティーズブランドへ！ ※具体的な対策は下記別枠に記載。					
これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17 のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）					
1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を實現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に 
				○ ●	
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任 
	●		○ ●	●	○
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナリシップで目標を達成しよう 	
○ ●	○ ●	○ ●	○ ●	●	

目標の達成に向けた重点的な取組内容等				
分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)			SDGs ゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)	目標の達成に向けた重点的な取組
①	経済	☐	【メイン】 12 13 【サブ】 14 15	【有機 JAS 認証とプラスチックフリー推進による環境負荷の極小化】 無農薬・有機堆肥（有機 JAS）にこだわり、緑と水資源を守るサプライチェーンを維持する。通販資材のリユース徹底、ティーベース副産物の完全資源化（メレンゲ等）、パッケージのプラスチックフリー化を推進し、脱炭素社会の実現に貢献する。
	社会	☒		
	環境	☒		
②	経済	☐	【メイン】 5 【サブ】 10 11	【紅茶を通じた多様な人材の雇用創出と地域交流のハブ化】 シニア層や女性の積極的な雇用（ジェンダー平等の推進）を継続し、お茶会などを通じた多世代交流の場（地域交流拠点）を区内に提供する。製品を通じて、働く人々、特に女性の健康とリフレッシュをサポートする。
	社会	☒		
	環境	☐		
③	経済	☒	【メイン】 4 8 【サブ】 11 17	【脱炭素推進と地域貢献を通じた持続的成長の実現】 ティーベースの輸出事業を確立し、大田区を拠点にアジア・欧州市場へ展開。売上の 30%を海外市場で獲得する。2030 年には、年間売上を 1 億円規模に拡大し、事業利益の 5%を大田区の教育機関に寄付するファン드를設立し、大田区へ貢献したい。
	社会	☒		
	環境	☐		

進捗報告			
	進捗状況（1 年目）	進捗状況（2 年目）	進捗状況（3 年目）
①	お茶の定期便事業『M's TEA Journey』の立ち上げに伴い、プラスチックフリーパッケージの導入を推進。また、有機茶葉を利用したティーベースの茶殻をアップサイクルして作ったメレンゲ菓子がヒット中。茶葉を余すことなく活用するライフスタイルの提案を行う。さらに、持続可能な暮らしを提案するエコ		

	な『日用品ブランド』の企画・モニター募集を開始し、環境負荷を極小化するライフスタイルの啓発に努める。		
②	大田区内の地域マルシェ（池上日和、おおたイチ推しマルシェ、蒲田マルシェ等）へ積極的に出店し、店頭でのアンケート企画等を通じて、地域住民と『双方向で繋がるリアルな交流の場』を創出する。製品やコミュニティを通じて、現代社会で働く人々や女性の心と身体のリフレッシュをサポートする基盤を構築する。		
③	将来的な教育寄付ファンド（Hello Kids Fund 構想）の設立を見据えた第一歩として、主要な仕入れ先であるスリランカの孤児院への寄付支援をいち早く実施。単なる貿易にとどまらず、現地の子供たちの教育や生活を直接支えることで、持続可能かつ公平な国際パートナーシップ（ゴール 4・17）を1年目から具現化している。		